



人間の骨の中で、いちばん大きい骨は何なの

いちばん大きいのは、大腿骨

人間の体には、約200個の骨があり、体を支えたり、脳や肺を守ったり、筋肉と協力して、体を動かしたり、血液の成分をつくる、4つの大きな役目をしています。

その中で、いちばん大きいのは、大腿骨という骨です。ひざの上から、足のつけ根までの骨で、長さは、およそ身長の4分の1です。

人間の骨の中で、いちばん小さい骨は

では、人間の骨の中で、いちばん小さい骨はというと、それは、耳の中の中耳にある、耳小骨という骨です。

耳小骨は、三つの骨で構成されており、それぞれ、つち骨、きぬた骨、あぶみ骨という名がついています。

中でも、最小のあぶみ骨は、長さがわずか2.6~3.4ミリメートル、重さも2.0~4.3ミリグラム(1ミリグラムは、千分の1グラム)しかありません。

(監修・保志 宏)

